

# 令和元年度 魚津市総合教育会議 議事録

令和元年 10月1日 (火)  
16:00~17:00  
魚津市役所第1会議室

- 【出席者】 市長 村椿 晃  
副市長 四十万 隆一  
教育長 畠山 敏一  
教育委員 島津 豊、伊東 潤一郎、山浦 春美、片山さゆり  
事務局 企画総務部長、教育委員会次長、学校教育課長、教育総務課総務係長  
企画政策課長、財政課長、総務課長、地域協働課長、こども課長  
生涯学習・スポーツ課長、水族博物館管理課長、埋没林博物館長  
図書館長、給食センター所長、企画政策課課長代理

## 【議事録】

事務局 (企画政策課長)	ただ今から令和元年度の魚津市総合教育会議を開会いたします。企画政策課の赤坂です。どうぞよろしく願いいたします。開会にあたり、魚津市長 村椿晃が一言ご挨拶申し上げます。
市長	<p>お忙しいところ、本日の総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。日頃から教育行政のみならず様々な分野でご支援をいただき感謝申し上げます。</p> <p>今ほど、10月1日付けで新たに就任された片山委員に辞令をお渡しさせていただきました。宜しく願いいたします。</p> <p>ご案内のとおり、本市では教育環境の充実ということで、学校統合に合わせる形でICTや空調設備など、ここ数年頑張っております。また、英語教育やプログラミング教育など、新しい学習指導要領に先行する形で取り組んでおります。</p> <p>今日は自由な意見交換をしようと思うのですが、話題として、現在取り組んでいる行財政改革について委員の皆様にご説明したいと思っております。財政が苦しくなった理由のひとつとして学校統合に伴う整備が上げられますが「学校が悪者なのか」と受け止められがちです。決してそうではありません。学校統合に合わせてICT環境整備などいろいろなことを進めており、逆にタイムリーであったと考えています。そこは市民の皆様にご理解のないように伝えていきたいと思っております。結果として集中的に経費投入し、基金を崩していますが、決して悪者ではありません。</p> <p>これから必要なことは教育の中身だと思っております。考える力と伝える力。他の人と協働してアクションできる力。子ども達が生きていくうえで基本となるものを身に付けるということをしつかりと行っていきます。</p>
事務局 (企画政策課長)	早速ですが議事に入りたいと思っております。ここからの議事進行は市長をお願いいたします。
市長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>教育委員会は公共施設を多く抱えています。公共施設の見直しは行革の大きな柱のひとつです。そこを中心にご説明いたします。</p>

事務局 (財政課長)	【別添「魚津市財政健全化計画（概要）」に基づき説明】
事務局 (総務課長)	【別添「公共施設再編方針等見直し（案）」に基づき説明】
市長	<p>行財政改革関連の取組状況をご説明いたしました。本会議は行財政改革についてどうこういう会議ではありませんが、教育分野にも直接関係しています。不明な点やご意見があればお聞かせください。10月からタウンミーティングを行う予定であり、総合計画の策定も行っていきます。市民の皆様への伝え方でも結構ですのでご意見いただきたい。</p>
山浦委員	<p>温水プールについて「調査検討中」とあるが具体的にどういうことですか？</p>
教育委員会次 長	<p>小学校プールの老朽化が進んでいます。中学校についてはバスを利用し総合体育館温水プールで授業を行っています。各小学校にプールを整備するのではなく、温水プールを活用する形態にできないものか。議会からの意見もあり、今回調査・検討を行っております。</p>
市長	<p>プールについては整備手法の問題と利活用の問題の2つがあります。集約化して整備する際、市が整備するのか、民間活力を活用するのか。一般の方の利用と教育利用がジョイントできるのか。複合的な要素があり、そういった点を検討しています。</p>
伊東委員	<p>いろいろな施設の利用率はよく目にしますが、時間に対する利用率のような考え方を導入することによって、施設の統廃合を市民に伝えやすくなるのではないか。例えば児童センターと公民館。●時から●時までしか使わない施設というものがあるわけですね。それをどうするか。ある時間は一般開放を行うけれどそれ以外はこうしますよなど。時間別の利用状況を明確に見えるようにするとよい。</p> <p>質問してもよいですか。小学校の統廃合について、財政状況に影響を与えたことは分かるのですが、費用的なメリットは全くなかったのですか？また、費用以外の部分についてメリットを明確に見えるようにしておいた方がよいと思うのですが。</p>
市長	<p>8月に実施した市民説明会においても話をさせていただきましたが、まだまだ伝え方が弱いと思っています。義務教育の制度上、インシヤルコスト、ハード部分は市が面倒を見ることになっています。学校が残っている限り、いずれは建て替え・補修のニーズが生じます。統合した場合、長いスパンでは経費が削減されることをお伝えしたが、弱かったと思っています。ハードの比較はしやすいがソフト的な部分は水道代のような（小さな）話になる。一番大きいのは先生の人件費。メリットが市レベルでは出てきません。統合しても教員定数を比例的に削減するのではなく、頑張ったところには手厚くしてほしい。県だけではそれが出来ないのを国に訴えているところ。すぐには実現しない。</p>
伊東委員	<p>子どもの教育に対してのメリットはありませんか。</p>
市長	<p>統合することによって先生の密度が変わって、教育密度が上がったと言えれば一番よいのだけれど。そこの効果はなかなか出ません。加配は部分的にしてもらっているが全体で言うと焼石に水です。この問題の本質的なところ。やろうとすると市の財源でやりなさいと言われてしまう。</p>

市長	<p>少しずつ変えていかなければいけない。伊東委員ご指摘のとおり、統合の効果をしっかりと伝えないといけない。経費もそうだが中身が大事です。</p>
伊東委員	<p>魚津市は県内では最も先進的に統合を進められました。</p>
市長	<p>2040年モデルに合うのは魚津市だけとされています。世の小学校・中学校の半分が無くなってしまいます。魚津市はそれにマッチしています。先取りをして苦しい、基金を取り崩して大変だが頑張っていきたいということです。</p>
島津委員	<p>財政健全化計画について質問します。</p> <p>平成20年から中学校のPTA会長となって新しい校舎が建ちました。そして、清流小、よつば小、星の杜小と、自分たちが提案したものが10年かけて形になりました。本当にありがとうございました。</p> <p>魚津市の場合は、東部中、西部中と2中学校しかない。黒部市さんは今まさに取り組んでいるところ。小学校については、少し早かったのか、5年間ぐらいで結果を出された。そのツケが来ているのかなと思います。10年後、20年後には楽になると考えればよいのかなと考えています。</p> <p>私はYKKの建築部署におり、昭和40年代からバブル期に至るまで、市庁舎レベルの建物を2棟ずつ建てていた時代があります。それも50年経って老朽化してきました。</p> <p>早稲田大かどこかの先生が「工場はこうあるべきだ」というマスタープランを考えられました。世界のYKKで稼いだお金を投入して、壊しては建てを繰り返しました。今はそういうことは出来なくて、小さいプロジェクトを作って、採算が取れそうなところに投資をしています。前のように派手には建てません。古い建物を裸にして骨を残して、そこに付け加えていくようなやり方です。費用対効果や稼働率を考えながら行っています。(魚津市の場合は)古い建物を持ちすぎてしまって収入がない。資料のとおりだと思います。市民にとって急激な負担とならないよう・・・という考え方もそのとおりだと思います。家賃を上げるのは当たり前だと思うが、スポーツをするのにお金がない人はできないとなると寂しい。</p> <p>ここ2・3日考えてみたのですが、郊外の大型店舗とコンビニのような身近な店舗という風に住み分ければどうですか。公園を集約して、〇〇は幼児の遊べる公園、△△はリズム体操のできる公園などとする。旧小学校については校下の方だけで夜間開放を利用するのではなく、昼も夜もいろいろな所から来てもらってもOKとする。魚津市はいいよね、活気があっていいよね、かつ、お金を使わない方向でされればよいと思います。</p>
市長	<p>総合体育館はいろいろな競技スポーツの方が利用しています。以前の再編方針でも平成30年には廃止となっており、2年ほど遅れています。その代替機能を旧小学校体育館で担えないかと思っています。そのまま利用するのか、競技スポーツごとに特化した環境整備を行うのかなど、利用調整の仕方を検討しています。今ある施設を有効に活用することがベースです。古くてどうしようもないものは整理する必要がありますが。</p> <p>プールについては複合的な要因があるので、国費を使って方向性を調査しています。もう少し時間はかかりますが、いずれは決めていきたい。</p>
島津委員	<p>資料「公共施設再編方針の見直し(案)」について。総合体育館から吉田グラウンドを含めて、廃止となると一等地が空いてきます。例えば黒部市では道の駅ができるも聞いています。“売却”といった表現もありますがいかがでしょうか。</p>

市長	新しい総合計画を策定する際、そういうものも描いていければと思っています。
伊東委員	20年か30年経って中学校を一つにしなればならなくなった時、そこを利用するとか。僕達が死んだ後の話かもしれませんが。
市長	ご意見ありがとうございます。行財政改革、公共施設再編について、進行状況を理解していただきたいという意味でご説明しました。これに限らず、教育行政の内容についてもご意見をいただきたいと思います。
山浦委員	少し話が戻ります。学びの森はすごく珍しい施設だと思います。もうちょっと上手に活用できないかなと。“廃止”となっていますが工夫次第では収益を上げられると思います。場所もよい。景観もよい。期待をしたい。
市長	全く同じ思いです。廃止して静かになるのではなく、機能がより活かされるような展開ができればと考えています。市役所でやると制約が多いのです。
山浦委員	教育的価値も高いと考えています。15、16年前に小学校3年生の9歳のひとり立ち事業で使用したことがあります。しかし不便さのほうが多かった。調理場が狭かった。お風呂は近くの天神山温泉で入れた。小さな規模の学校なら大丈夫でした。先生方は天神山をベースにウォークラリーを作るなど頑張った。だが、都合悪いことのほうが多くてそのまま終わってしまいました。
市長	そういうことができるエリアとしたい。
伊東委員	志賀高原の山奥の一軒宿で24時間楽器弾き放題というところがあります。6月から9月になると音楽関係の合宿が1週間単位で埋まっているとのこと。メリットは好きな時間に好きなだけ演奏できること。では(学びの森には)何が足りないのかなと。志賀高原の宿も最初は年間2組程度だったといいます。ロコミの力で広まった。
市長	<p>利用の自由度というか、ユーザー側のニーズと管理運営側のコストの両面があつて、ユーザー側のニーズを充たせるような運営手法を考えなければなりません。従来の枠組みに捉われずに考える時代だと思います。個々の要望の全てを充たすことはたぶんどきません。後は施設の利用度をいかに高めるか。</p> <p>最初に伊東委員がおっしゃったように、施設評価をするにあたって、稼働率を出せないか考えたが、そういう管理をこれまでしてきませんでした。今あるのは使用料からの推計です。民営施設では考えられないと思います。よりシビアな管理体制も必要だし、そこを踏まえた利用方法の提示を行う必要があると考えます。</p>
伊東委員	<p>マトリックスを使って集計を取るという考え方があると思う。</p> <p>違う話をさせていただいてもよろしいですか。学校の先生の多忙化について。英語教育や道徳など多忙な中、もっと大変な状態に変わっていきます。先生方のゆとりの度合いが、子ども達の間接力を身に付けるうえで大きな要素となると思います。予算がない中で何かをしてくださいと言うのは非常に厳しいことですが。</p> <p>製造現場におけるおもしろい話があります。ホンダのフィットを作るラインは45秒だそうです。「なぜ45秒を43秒にできないのですか」と問われたとのこと。43秒になれば2%生産効率が上がります。1時間に100台できていたものが102台になります。人間工学的に言えば、仕事は必死に真面目に働いた場合の70%以上させたらダメだといいます。そこを超えると不良物が増えるということ。</p>

伊東委員	<p>今の先生方の時間の使わせ方を見ると70%ではなく（もっと上）・・・何か方法はないものかと思います。</p>
市長	<p>そうですね。南砺市はまさにそうですね。担任制をやめて科目別に特化する。特化させて時間のシェアみたいなものを生み出そうという方法です。それが良いのか悪いのかは分からない。ただ、いろいろ研究はなさっていると思う。教育長、いかがですか。</p>
教育長	<p>教員の数を増やすのが一番手っ取り早いがお金がかかります。そこをどう補うかという、ICT機器などを使って資料作りの省力化を図る。そこにも課題があり、機械を使いきれないということもあります。その課題に対応するための研修を実施するとさらに忙しくなってしまう。ジレンマはあるが、AIが進歩しており、明日のためではなく子どもの将来を見据えて取り組んでいかなくてはなりません。</p> <p>学校は子ども達が主役であり、将来どういった社会・生活様式になるかを見据えて子ども達に接していく必要があります、これまでと同じことをしていても難しい。これまではプラスプラスで苦しくなっています。何を削るか、何を家庭におまかせするか、何を地域におまかせするか、学校では何をすべきか、そこが曖昧になってきています。国にも政策として取り組んでもらいたいと思っています。</p>
伊東委員	<p>統合したメリットとして、1クラスだったところが3クラスになりました。例えば清流小は1学年90人くらい。1クラスを半分に分ける少人数学級という考え方があると思いますが、例えば3クラスを2つに分けて授業するという考えがあると思っています。そうすると先生1人分の時間が生み出せる。そこを活用すると違うものが見えてくる。全部の科目は無理でしょうが出来る科目はあると思います。また、能力別に2クラスに分ければもっとやりやすくなる。この考えは正しいかどうか分かりませんが、理解力の高い子どもとそうではない子どもがいたとして、理解力の高い集団であれば授業のやり方も違ってきます。それが日本の教育の中で出来るのかどうか考えなければなりません、先生方に少しでも時間をあげて、そこを上手く活用していただきたいです。</p>
市長	<p>どこまで授業編成の自由度があるのか正直分かりませんが、考え方としては理解できます。</p>
山浦委員	<p>授業時数には標準があるが、やり方はある程度自由があると思います。今言われたご意見の逆はしてきました。2クラスを3つに分けて、能力別、課題別、少人数で行うなど。担任は2人だけどそこに1人加わって3人で子ども達に教えていました。</p>
伊東委員	<p>2クラスを1クラスにするのは難しいと思うが、3クラスを2クラスにするのは簡単ではないでしょうか。</p>
山浦委員	<p>音楽や体育などはそういう形にできるかもしれませんが、国語や算数となると果たして効果があるのかなと思います。</p>
伊東委員	<p>教える人数は1人減りますが、減った1人が少人数に回れる時間が増えます。例えば、余った1人が1学年下の授業に回ることにより違ったものが見えてくるのではないのでしょうか。</p> <p>教育は街に人を集めるツールだと思います。この街の教育はおもしろいとなれば、人が住むことにつながります。</p>

市長	制度上のところは難しくて分からないのですが、元気な民間の方が多くいらっしゃるのので、そういう力を学校教育に生かせないかなと思っています。
片山委員	親として思うのですが、学校で勉強だけでなく、生きる力、例えば株価や地元で働く方の話など、自分の将来を思い描けるような授業、私の時代はそういうものが無かったので、早い段階からそういう環境があればよいですね。
市長	現状はどうですか。
教育長	小学校で言えば総合的な学習の時間など、学校裁量で決められるものは特色を出しやすい。ふるさと教育に時間を割いたり、理科学習に強化したりなど様々です。
市長	時間の制約があると思います。総合的な学習の時間を増やすと、他の教科の時間を縮めて授業効率を高めなければなりません。そういうことは可能ですか。今まで 50 分だったところを 45 分にするなど。
教育長	やろうと思えばやれますが、現状で精一杯です。いかに消化するかで一生懸命。能率よく行えば時間は生み出せるかもしれない。
市長	先生方の負担とならない程度に研究していただき、そういう考えを標準化していければよいですね。
教育長	県総合教育センターや市教育センターでは、模範となる指導案を集約していつでも情報共有できるシステムを持っています。
市長	1つの学校レベルではなく全体でとなると難しいですよ。
伊東委員	人間として生きていく力を教えることはスタンダードを作ることが難しいですね。
教育長	教科というよりは特別活動の時間や学校行事を通じて身に付けるところが大きいと思います。大人になった時、授業は覚えていないけど一緒に何かに取り組んだことは覚えている。とはいえ通常の授業時間を削減して・・・とはなりません。
伊東委員	週に1コマですよ。帯では不可能ですよ。
教育長	時間がとれないです。
市長	どうすれば展開できるか考えていく必要がありますね。
教育長	学校だけでなく企業など様々な考え方を取り入れていくことが必要だと思います。
島津委員	伊東さんのところで授業のお世話をされてはいかがですか。
伊東委員	経済同友会で子ども達への講師をしています。いずれかの学校で帯で行った場合、どのような効果があるか知りたいと考えています。先生方は学校で苦勞なさっておられますが、我々（経営者）にとっては学生生活が終わった方を 30 数年間こちらの世界でお預かりすることになります。そのためにどんな取組を行うべきか考えています。成果を見るためのモデル校があれば、年間 20～30 人の講師は派遣できます。

市長	<p>これからの企業人づくり・社会人づくりを義務教育段階から民間とともに取り組むということですね。</p>
片山委員	<p>中学校部活動と企業がコラボして世に出す商品を作るといった活動がありません。高校ではあったと思いますが。(そういう経験をする) 中学・高校・大学とその後の過程が変わってくると思います。</p> <p>中学生の発想はとても飛躍していて、大人では想像できないことを思いつきます。そういうアイデアとウィンウィンの関係を築けないかなと思います。</p>
市長	<p>おもしろい話がたくさん出てきました。ですが時間の関係もありますので、このあたりで閉じたいと思います。</p> <p>今後とも皆様からご意見をいただき、これからの教育の展開に生かしていければと思います。本日はありがとうございました。</p>

17時終了